

- 38.かれらは皆至福の樂園に入ることを望むのか。
- 39.いや、断じて出来ないことである。本当にわれは、かれらが知るものから、かれらを創ったのである。
- 40.いや、われは東と西の主によって誓う。われにとっては可能である。
- 41.かれらよりも優れた（外の）者をもって、かれらに替えてやろう。われは、失敗することはないのである。
- 42.だからあなたは、かれらを（虚栄に）浸らせ、戯れに任せるがよい。かれらが約束されている、その日の会見まで。
- 43.かれらが墓から慌ただしく出て来る日。それはまるで（現世で）かれらが偶像神へと急いだように。
- 44.かれらは目を伏せ、屈辱を被るであろう。これがかれらに約束されていた、その日である。

## SURA 71.ヌーフ章

慈悲あまねく慈愛深きアッラーの御名において。

- 1.本当にわれは、ヌーフをその民に遣わし、「痛ましい懲罰があなたの民に下る前に、あなたは、かれらに警告しなさい。」（と命じた）。
- 2.かれは言った。「わたしの人びとよ、わたしはあなたがたへの公明な1人の警告者です。
- 3.あなたがたはアッラーに仕え、かれを畏れ、わたしに従いなさい。
- 4.かれはあなたがたの様々な罪を赦し、定められた期限まで、あなたがたを猶予なされます。本当にアッラーの期限が来た時は、猶予されません。もしあなたがたが分っていたならば。」
- 5.かれ（ヌーフ）は申し上げた。「主よ、わたしは夜も昼も、わたしの人びとに呼びかけました。
- 6.だが、わたしの呼びかけは、只（正道からの）逃避を増すばかりです。
- 7.わたしがかれらに、『かれが、あなたがたを御赦しになるのだ』と呼びかける時、かれらは指を自分の耳に差し込・、自分で外套を被って（不信心を）固執し、ひたすら高慢になります。
- 8.それでわたしは、声を大きくしてかれらに呼びかけました。
- 9.或る時は公に、また（或る時は）密かにかれらに（訴えて）、
- 10.わたしは言いました。『あなたがたの主の御赦しを願え。本当にかれは、度々御赦しなされる。
- 11.かれは、あなたがたの上に豊かに雨を降らせられ、

- 12.あなたがたの財産や子女を増やし、またあなたがたのために、様々な園や（水の流れる）河川を蝕けられる。
- 13.あなたがたはどうしたのか。アッラーの御親切、我慢強さに対して、望・を持たないとは。
- 14.かれは本当に順序よく段階をおってあなたがたを創られた。
- 15.あなたがたは、アッラーが7天を如何に一層また一層と、創られたかを考えて・なかったのか。
- 16.また月をその中の明りとされ、太陽を（燃える）灯明となされたかを。
- 17.アッラーはあなたがたを土から育てられ、
- 18.それから、あなたがたは大地に帰され、また起き上らせられる。
- 19.またアッラーはあなたがたのために、大地を延べ広げられ、
- 20.そこであなたがたは、広い大道を往来するであろう。』といて聞かせました。」
- 21.ヌーフは（更に）言った。「主よ、かれらはわたしに従いません。自分の財産と子女とで、破滅を助長する者にだけ従います。
- 22.そして重大な策謀を企・ます。
- 23.かれらは言います。『あなたがたの神々を捨てるな。ウッドもスフーフも、またヤグースもヤウークもナスルも、捨ててはならない。』
- 24.かれらは既に多くの者を迷わせました。（主よ）迷いを放任されても、不義を行う者を多くしないで下さい。」
- 25.かれらは様々な罪のために溺れさせられ、更に火獄に送られ、アッラーの外には、どんな援助者も得られなかった。
- 26.ヌーフは（祈って）言った。「主よ、不信心な居住者を誰一人として地上に残さないで下さい。
- 27.もしあなたがかれらを残されれば、かれらは必ずあなたに仕える者を迷わせ、また罪を犯す不信心な者の外、生まないでしょう。
- 28.主よ、わたしとわたしの両親を御赦し下さい。また信者としてわたしの家に入る者、また（凡ての）信仰する男と信仰する女たちを御赦し下さい。そして不義を行う者たちには、滅亡の外には（何も）加えないで下さい。」

## SURA 72.アル・ジン（幽精）章

慈悲あまねく慈愛深きアッラーの御名において。